



2020

東京都大学サッカー連盟 学生審判員 マニュアル



《 M e n u 》

1. はじめに	1
2. 持ち物	1
3. 集合	1
4. 当日の流れ	2
5. LOOK UP PROJECT	3

1. はじめに

「公式戦」、それは選手であれば誰もが目指す場所です。その公式戦の舞台で、選手たちが日頃の練習の成果を発揮できるような試合環境を整える必要があります。審判員は、そのための重要な役割を担います。

日常、選手として活動している中で、審判員に対して「きちんと見てくれない!」「ラインにつけていない!」等、嫌な思いをしたことがきつとあったかと思います。今回、審判員として試合に参加するにあたり、選手にはそういった思いをさせないことが大切です。知識や技術よりも、何より“一生懸命”に取り組むことで、選手たちから信頼を得られるでしょう。

2. 持ち物

共通	
①レフェリーシャツ ②レフェリーパンツ ③黒色ソックス ④黒色シューズ ⑤ワッペン（ガムテープや安全ピンは使用不可） ⑥リスペクトワッペン（ガムテープや安全ピンは使用不可） ⑦ストップウォッチ腕時計 ⑧筆記用具 ⑨競技規則（ルールブック） ⑩電子審判証	

主審	副審	第4の審判員・待機審判員
⑩笛 ⑪イエローカード／レッドカード ⑫コイン（硬貨でも可） ⑬メモできる手帳	⑩フラッグ	⑩バインダー ⑪A4のメモ用紙

3. 集合

キックオフ 80 分前

- * 時間には余裕を持って移動しましょう
- * 電車、バスなどは遅れることがあります。遅延証明書が発行される場合でも、試合へ迷惑をかけることになります
- * 大学会場はキャンパスに入ってから、長く歩くところもあります
- * 初めての会場は道に迷う場合もあります

4. 当日の流れ

時間	内容	
-80	集合	時間に余裕を持って移動しましょう
-70	MCM	マッチ・コーディネーション・ミーティングへの出席 ※電子審判証の提示 前試合登録選手のため、出席できない場合には、予め運営本部に伝えましょう。その際に電子審判証は提示となります。また、代理の方の出席は不要です。
試合への準備 ウォーミングアップ		
-7	チェック	【チェック項目】 ①メンバー提出用紙掲載の先発 11 人の番号がいるか ②すね当てが入っているか ③スパイクの裏は安全か ④ソックスのテープはソックスと同色のものか ⑤ミサンガ、ネックレスなどの装身具はないか ⑥半袖着用の場合、アンダーシャツの袖の色はシャツと同色か ＊爪のチェック、首元の色チェックは不要
-5	入場	【コイントス】 ・勝ったチーム → ボール or 前半のエンド を選ぶ ・負けたチーム → 残ったものを選ぶ
試合開始 ～ 前半 「一生懸命」に！！		
ハーフタイム		・前半終了後の 15 分後に後半のキックオフ ・13 分頃には笛を吹きましょう
後半 ～ 試合終了 「一生懸命」に！！		
試合 終了後	記録確認	・スコア、警告・退場の対象者、理由 が正しいかどうか、公式記録と照合する ・【主審のみ】公式記録へ署名する
翌日 まで	審判報告書 投函	【主審のみ】審判報告書に記入し、投函する
	LOOK UP	【主審のみ】LOOK UP REPORT の送信 【3 ページ参照】

5. LOOK UP PROJECT

1. 概要

東京都大学サッカーリーグ戦をはじめとする各種大会において、課題点やトラブル等が頻繁に報告されている状況であるが、良い面や良くしようと活動している点にも目を向けることで、大会・試合環境全体の質向上を目指すものである。

2. LOOK UP の意味

上を向く、見上げる、尊敬する などの意味を持ち、「視野を広く持ち、欠点のみならず良い面も見つけていこう」という思い

3. 内容

- (1) **LOOK UP REPORT の実施**（アセスメントシート、優秀選手投票制度から派生）
- (2) 選手、チーム、観客、審判、運営本部、担架スタッフなどの全ての関係者が気持ちよく携われるよう、各種運用など、この視点で見直し、改善していく

4. LOOK UP REPORT について

(1) 概要

以下の3種類のアンケート形式のレポートを用意し、Google フォームを通して、回答する。なお、内容は良かった点、工夫されていた点が浮かばれる質問項目を予定しながらも、課題点・トラブルも情報収集できるもの。

- ・チーム：優秀選手投票、会場運営（会場校）についてのレポート
- ・運営本部：自チーム以外の各チームについてのレポート ※恒常的に発生している課題・トラブルを情報収集含む
- ・主審：担当試合2チームおよび運営本部についてのレポート

※審判団での感想を集約し、主審が代表して回答（学生主審含む）

回答締切：試合日翌日まで

(2) 活用方法

学生代表者会議（月1回）にて紹介し、良いものは共有、課題点・トラブルについては再発防止策の参考とする。

(3) 表彰

12月の年間表彰式にて表彰を行う。

既存の表彰とは異なり、正式なものではなく、いくつか部門を設けるなど、良いものが異なる角度から浮かばれるものにする。

その年のレポート内容から表彰理由をピックアップしていくため、今後も表彰規定には組み込まない。

本年の表彰内容も、シーズン進捗とともに検討していく。

《LOOK UP REPORT アクセス》

= 主審用回答フォーム =

<https://bit.ly/2wBRtxa>



※「審判報告書」は郵送にて必ず提出